



ながら SDGs 通信 第 13 回 目標 10. 人や国の不平等をなくそう



長柄町タウンアドバイザー／千葉大学大学院国際学術研究院 田島翔太

「99%のための経済」という言葉をお聞きしたことはありますか。国際協力団体オックスファムが 2017 年に発表した報告によると、わずか 8 人の富豪たちが、世界のおよそ半分の人たち（36 億人）と同じ資産を持っていることが明らかになりました。富豪たちはたくさんお金を持つだけでなく、本来払うべき税金を逃れたり、自分たちに都合の良いルールをつくったりすることで、人や国の格差を広げていると指摘されました。つまり、世界のごく一部（1%）の人たちのために、私たちの経済が成り立っていると批判されたのです。

そのような問題に対し、SDGs の「目標 10. 人や国の不平等をなくそう」では、所得の低い人たちの所得を増やすこと、年齢や性別などにかかわらず社会や政治に参加する機会を得ることで格差を減らすこと、みんなが納得できる国際的なルールや制度をつくることなどを目標としています。

日本では「子どもの貧困（相対的貧困）」が特に問題となっており、国を挙げて対策に取り組んでいます。

（出典）Oxfam International (2017) An economy for the 99%